

2026(令和8)年度 西部地区五大学共同開講授業科目「博多学」シラバス

授業科目名	博多学
開講年度	2026
開講学期	前期
対象学部等	全学部
対象学年	1～4
必修選択	選択
単位数	1 単位 (現地見学+ 集中講義)
担当教員	<p>【九州大学】辻田 淳一郎 人文科学研究院 (歴史学部門考古学講座) 教授 宮本 聡 人間環境学研究院 准教授</p> <p>【西南学院大学】伊藤 慎二 国際文化学部 教授 原田 大樹 人間科学部 准教授</p> <p>【福岡大学】渡辺 亮一 工学部 教授</p> <p>【福岡歯科大学】藤田 亜美 福岡歯科大学 細胞分子生物学講座 教授</p> <p>【中村学園大学】松隈 美紀 栄養科学部 教授</p>
履修条件	履修希望者数によっては、人数制限を行う場合がある。
授業の目的 教育目標	<p>「博多学」を通じて、みなさんが今まさに学んでいる土地が、どのような場であるのかを学んでいきましょう。地域に関する知識 (歴史、文化など) や、地域で行われていること (習慣など) を知ることで、地域に対する誇りを再確認することにつなげ、更にその誇りをグローバルに生きる「国際人」の自信として欲しいと願っています。</p> <p>以上のようなことから、みなさんの学習目標は大きく二つを考えています。</p> <p>ひとつは「博多」の魅力を自身の言葉で伝えることができるようになること。もうひとつは、地域を見つめる際にさまざまな視点が存在することを知ることです。</p>
授業概要	博多を博多湾や水事情および災害などの「自然」、対外交流、文化普及等の「歴史」、食文化、外来文化等の「文化」の面から考察する。
授業の進め方	<p>現地見学 (5/9(土)、5/16(土)、5/30(土)、6/6(土)のいずれか1日に必ず出席すること)</p> <p>集中講義 (8/20(木)、8/21(金)の2日間)</p>

【授業計画：現地見学】

5/9(土)、5/16(土)、5/30(土)、6/6(土)のいずれか1日

5/9(土) 5/16(土) 5/30(土) 6/6(土)	<p>福博の歴史と文化探訪</p> <p style="text-align: right;">藤田 亜美 福岡歯科大学 細胞分子生物学講座 細胞生理学分野 教授</p> <p>テーマ</p> <p>神社・仏閣・記念館・遺跡などを現地見学し、歴史的・文化的背景を理解する。</p> <p>我々が現在生活しているこの福岡・博多の地域を実地見学します。座学ではなくて、地元に着した歴史・文化を「歩いて、見て、聞いて、触れる」ことを目的にします。現地見学体験を通じて、自分を取り巻く地域や社会の理解を深めることは、これからの学びに対する姿勢を変えたり、地域社会での貢献を考える材料になったりすると思います。一緒に学んでいきましょう。</p> <p>下記スケジュールから1回を選び、現地見学（土曜、10～11時頃から約6時間）に参加してください。</p> <p>5月9日「福博の歴史と文化を体験するイントロダクション」 ～中央区・城内、早良区・百道浜～ 鴻臚館跡遺跡展示館、福岡市博物館</p> <p>5月16日「福岡の信仰・福博における外来文化の受容・洗練および伝承を体験する」 ～中央区・今川、早良区・西新～ 鳥飼八幡宮、西南学院大博物館、聖書植物園、元寇防塁跡</p> <p>5月30日「福岡博多の歴史や文化・アジアの玄関口としての福博を体感する」 ～博多区・冷泉町、博多区・下川端町～ 博多町家ふるさと館、福岡アジア美術館</p> <p>6月6日「福岡の祭礼・博多の食文化を体験する」 ～早良区・高取、東区・社領～ 紅葉八幡宮、博多の食と文化の博物館「ハクハク」</p>
--	--

【授業計画：集中講義】

8/20(木)、8/21(金)の2日間

8月20日(木)

8/20(木) 09:20~10:50 (90分)	①博多の水資源と水循環 <u>渡辺 亮一 福岡大学 工学部社会デザイン工学科 教授</u> 1 限目の講義では、福岡市内の水資源について考察し、福岡市の弱点である飲み水に関して、どのようにして福岡市民が水を得ているかを見つめなおし、流域治水を達成することで、水資源と洪水の両方を一挙に解決する方策を講義の中で考えていく。
8/20(木) 11:00~12:30 (90分)	② 博多湾の水質環境について、「豊かな博多湾の再生を目指して」 <u>渡辺 亮一 福岡大学 工学部社会デザイン工学科 教授</u> 2 限目の講義では、福岡市民が使った水が最終的に流れ込む博多湾に関して、現状の問題点とその解決策について解説を行い、豊かな博多湾の再生のために何が必要かをお話します。
8/20(木) 13:20~14:50 (90分)	博多の郷土料理と食文化① <u>松隈 美紀 中村学園大学 栄養科学部フード・マネジメント学科 教授</u> 本授業は、古くから東アジアに開かれた玄関口として発展を続け、多くの歴史遺産や豊かな郷土文化を今に受け継いできた博多（広い意味での福岡市）について学び、その地域周辺で食されている四季の郷土料理を通して、歴史や文化（食文化）、生活、年中行事、国際交流、産業を理解し、地元食材の知識や大切に使う心を養い、地域社会やグローバル社会において、自分の言葉で博多の歴史や食文化について、人に説明することができる事を目的とし、以下の講義を行う。 <博多の郷土料理と食文化>① (90分) 郷土料理を生み出す要素 1. 気候・風土 2. 歴史 3. 宗教 4. 教育
8/20(木) 15:00~16:30 (90分)	博多の郷土料理と食文化② <u>松隈 美紀 中村学園大学 栄養科学部フード・マネジメント学科 教授</u> 本授業は、古くから東アジアに開かれた玄関口として発展を続け、多くの歴史遺産や豊かな郷土文化を今に受け継いできた博多（広い意味での福岡市）について学び、その地域周辺で食されている四季の郷土料理を通して、歴史や文化（食文化）、生活、年中行事、国際交流、産業を理解し、地元食材の知識や大切に使う心を養い、地域社会やグローバル社会において、自分の言葉で博多の歴史や食文化について、人に説明することができる事を目的とし、以下の講義を行う。

	<p><博多の郷土料理と食文化>② (90分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・博多の正月料理 ・博多の四季(春・夏・秋・冬)の料理 ・博多の祭りと料理 ・博多の朝食とおもてなし料理 ・昔ながらのおやつ ・郷土料理とは
--	---

8月21日(金)

<p>8/21(金) 09:20~10:50 (90分)</p>	<p>博多湾沿岸地域と「磐井の乱」</p> <p>辻田 淳一郎 九州大学大学院人文科学研究院(歴史学部門考古学講座) 教授</p> <p>『日本書紀』には、継体21-22年(527-528)に、九州の豪族・筑紫君磐井(つくしのきみいらい)とヤマト王権とが軍事的に衝突したことが記されています。この「磐井の乱」は、その後の日本の古代国家の形成に大きく影響を与えたと考えられてきました。博多湾沿岸地域は、この「磐井の乱」における重要な歴史的舞台の一つであり、それに関連する遺跡も多く存在しています。本講義では、「磐井の乱」とその時代について、考古学・文献史学の成果をもとに考えます。</p>
<p>8/21(金) 11:00~12:30 (90分)</p>	<p>儀礼論からみる博多 -博多における「時間」について-</p> <p>宮本 聡 九州大学大学院人間環境学研究院 准教授</p> <p>博多には、博多祇園山笠や博多どんたくなど全国的に有名なものから、地域の人々によって継承されてきたローカルなものまで、さまざまな祭礼や年中行事が行われています。それらの儀礼は、日常/非日常の境界や人生における節目として、わたしたちの生活の中での時間感覚を支えているように考えられます。本講義では、博多で行われる具体的な儀礼を例にして、教育人類学の儀礼論の視点から考えていきます。</p>
<p>8/21(金) 13:20~14:50 (90分)</p>	<p>元寇防塁と松脂採り：考古学から探る西新・博多の戦争の記憶</p> <p>伊藤 慎二 西南学院大学国際文化学部 教授</p> <p>博多湾は、多くの時代を通して対外交流の豊かな玄関口であったが、対外戦争の際は過酷な最前線となった。西南学院大学構内を含む博多湾沿岸に築かれた元寇防塁を中心に、西新とその周辺に残る戦争の痕跡を考古学の観点から考える。</p>
<p>8/21(金) 15:00~16:30 (90分)</p>	<p>グループディスカッション</p> <p>原田 大樹 西南学院大学 人間科学部 児童教育学科 准教授</p>
<p>成績評価の方法等</p>	<p>①各大学の担当教員は、評価を受けるにあたって必要な出席回数を満たしている学生について、実地見学および授業中に課した振り返りシート等を総合的に勘案し成績評価を行い、大学は単位を認定する。</p> <p>②グループディスカッションで提出されるレポート、また、後日提出される最終課題を加算材料とするかどうかについては、各大学の担当教員の判断に委ねる。</p>